

欧米政界・王室 醜聞に動揺（637号）

2026年 2月 石館

米国の富豪で少女売春などの罪で起訴され自殺したエプスタイン氏のことはテレビや新聞報道で皆さまもご存じのことと思います。小生はエプスタイン事件がこれほど根が深くかつ広がるとは予想していなかった。



トランプ米大統領（右）と米富豪エプスタイン氏（A F）
売春を斡旋した“顧客リスト”を保有し、口封じの為に殺害されたとの陰謀説もある。米国で25年11月、資料の全面公開を義務つけた法案が成立した。

エプスタイン氏は金融業界でキャリアを積み、資産運用の会社を設立して財をなした。

カリブ海の島を保有し、政財界の大物を呼んでパーティを開催していた

19年に少女売春などの罪で起訴され、拘置所内で自殺した。

トランプはこれまで同文書の公開に否定的だったが、11月16日になってスタンスを一変させ18日に署名した。米司法省が1月30日公開したエプスタイン氏に関する捜査資料は約2000本のビデオと約18万点の写真を含む300万ページ以上にも上る。これまでの公開分を含めて約350万ページ分の資料を公開。司法省は保有する資料の公開は完了したとの立場を示した。

この資料によると、エプスタイン氏の人脈は米国のみならず世界各国の大物に広がっており、それらの国々に様々な影響を与えている。この資料は黒で塗りつぶした箇所が多く、どこまで真相が明らかになるか不明だが、例えばトランプに関するまずい記述は塗りつぶされた箇所がおおく、一方クリントンに関してはトランプに比べ塗りつぶされた箇所が少なくなっており、民主党から司法省に抗議が出ている。

米国ではマイクロソフトのビル・ゲイツ、ラトニック商務長官、

イーロンマスク、マイケルジャクソン 等様々な分野にわたる。一方欧州の王室や政界にも様々な波紋を広げている。英国では労働党の重鎮マンデルソン議員がエプスタイン氏から金銭授受の疑惑が報じられ、党员資格を返上させられた。

文書に含まれていた主な人物

米国	英国
 <ul style="list-style-type: none"> ◆ クリントン元大統領 ◆ トランプ大統領 ◆ ラトニック商務長官 ◆ 起業家マスク氏 ◆ マイクロソフト共同創業者盖茨氏 	 <ul style="list-style-type: none"> ◆ マンデルソン前駐米大使 ◆ チャールズ国王の弟アンドルー元王子 ◆ 英銀バークレイズ元首脳 <p style="text-align: right; font-size: small;">写真はいずれもAP</p>
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ ノルウェー皇太子妃 ◆ スロバキア元首相顧問 	

またチャールズ国王の弟アンドルー元王子もエプスタイン氏との不適切な関係により王族に与えられる称号を剥奪された。

ノルウェーのメッテ＝マリット皇太子妃が、エプスタイン氏との過去の交友について謝罪する声明を発表した。皇太子妃は文書に1000回以上登場したと報じられている。

ベルギー国王フィリップ殿下の弟であるローラン王子も、生前のエプスタイン氏との親交を認めている。



ノルウェーのマリット皇太子妃

果してトランプはエプスタイン氏とどの程度の関係にあったであろうか。民主党は下院監視委員会で、トランプ氏が被害者の少女の1人と“数時間過ごした”と記載されたエプスタイン氏の知人宛ての文章を公開した。トランプに関連した文書で塗りつぶされた場所にどんなことが書いてあったかわからないが、トランプはエプスタイン氏と親交があり、不正行為に関与したのではないかとの見方もある。もし何らかの形で不正行為が明らかになった場合は、大統領時代のことではないにせよトランプ及び共和党にとって致命的な痛手になることは間違いないであろう。

トランプ氏は12月2日のSNSへの投稿で“私はエプスタインの島には1度も行ったことはないが、インチキ民主党員や献金者たちのほとんどは行っていた”と述べ、自身の関与を重ねて否定した。

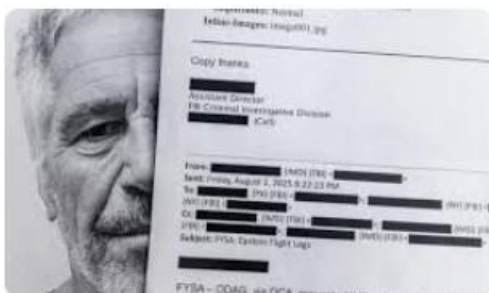
司法省は合計約600万ページ分を収集したが、実際に公開したのはその半分あまり。被害者を特定できる情報は無関係と判明した資料を除いたと説明している。



トランプとエプスタイン 手前の女性は誰だか不明

トランプ政権は11月の中間選挙を控え、早くこの問題に幕引きを図りたい考えだが、民主党の議員は“調査は始まったばかりだ”と追及を続ける構えだ。

エプシュタイン文書公開は司法省の権限であり、トランプの息がかかった司法省はトランプに都合の悪い文書は公開しない可能性が高く、民主党がどこまで文書の公開を追求できるか不透明である。少女売春にトランプが何らかの形に関わった証拠がもし出てきたら、先にも述べた通り若い頃の話とは言え、大統領を続けることは出来なくなる可能性もある。



重要な部分を黒塗りされた文書

2月27日クリントン元大統領が、米下院監視委員会の召喚に応じて証言した。クリントン氏は冒頭発言で“私のエプスタイン氏との短い面識は、彼の犯罪が明るみに出る何年も前に終わっていた”と説明。下院監視委員会のコマー委員長（共和党）“クリントン氏はすべての質問に答えるか、答えようとした”と評価した。

またコマー氏はクリントン氏は証言でトランプ大統領の潔白を証明したとも指摘した。非公開の委員会なのでどのような話があったのか分らぬが、何かトラ

ンプとクリントンは互いの身を守るため取引をしたような感じがしてならない。言葉は悪いが好き者同士と役者が揃った感じである。だが大金持ちのビル・ゲイツの名前が挙がっているが金で結び付いたとは考えられずちょっと奇異な感じがする。ノルウェー皇太子妃の名前も挙がっているが一体どんな結びつきであったであろうか。